

# 日本原子力学会 核燃料部会

## 平成 24 年度 第三回運営小委員会議事録

日時 : 平成 24 年 12 月 4 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00

場所 : 原子力学会事務局会議室

出席者 : (委員以下は 50 音順)

岩田部会長、安部田副部会長、池田委員、逢坂委員、大江委員、大山委員、木下委員、草ヶ谷委員、高野委員、武田委員 (藤塚代理)、永瀬委員、野田委員、平井委員 (坂本代理)、真崎委員、松浦委員、若松委員、上村 (NFI)、高松[記] (委員 17 名 + 1 名出席)

### 議事

#### 1. 前回運営小委員会議事録確認

高松庶務幹事から、前回第 2 回運営小委員会議事録 (資料 No. 0) を提示。前回運営小委員会終了後、メールにてすでに了承済みであるため、内容の説明は省略した。

#### 2. 平成 25 年度夏期セミナーについて

NFI 上村殿から資料 No. 1 により、来年度の夏期セミナーの準備状況について説明。プログラムの提案等はメールで NFI へ送るものとし、準備は今の方向で進め、開催場所、日時、プログラム等について、次回の運営小委員会で決定することとした。

#### 3. H24 年度 (近畿大) の企画セッション

安部田副部会長から資料 No. 2 により、春の年会での企画セッションは「溶融事故における核燃料関連の課題検討ワーキンググループ活動報告」で決定した旨報告。

#### 4. 第 1 回核燃料部会部会賞 (奨励賞) の応募状況について

池田委員から資料 No. 3 により、部会賞 (奨励賞) の応募について 4 件の応募があったこと、選考までのスケジュール及び表彰状/盾の案等について報告。今後部会賞選考委員にて基準作成、学会への連絡、選考を進め、運営小委員会でのメール審議を経て 2 月中旬までには表彰者を選考する。

#### 5. 核燃料タスクチームの設立趣意書 (案) について

安部田副部会長から資料 No. 4 により、核燃料タスクチームの設立について説明。学会の安全部会が申請する特別専門委員会に合わせて設立する予定であるが、同委員会がまだ設立されていない。部会長から、安全部会へ核燃料部会メンバーも参加した方が良いとの意見が出された。

#### 6. 「溶融塩技術の原子力への展開」研究専門委員会の設立申請について

木下委員から資料 No. 5 により、「溶融塩技術の原子力への展開」研究専門委員会設立の説明。関連部会 (核融合、再処理、燃料サイクル、安全部会等) との連携が必要であり、それら部会に対して核燃料部会として申請することについての説明をした方が良いとの意見が出され、対応することになった。

**7. 通常予算・平成 24 年度仕様状況と平成 25 年度予算**

高松庶務幹事から資料 No. 6 により、今年度の収支と次年度予算の申請を 11 月 20 日に学会事務局へ提出した旨説明。前回の小委員会で H P の充実についての話があり、次年度予算に H P 修正費を盛り込んでいること、内規上 H P の作成管理は広報担当が実施することとなっている等の話があった。

**8. 平成 25 年度業務分担案**

高松庶務幹事から資料 No. 7 により、次年度の業務分担案について説明。特に異論はなく了承された。

**9. 次回の運営小委員会、全体会議の開催日時について**

高松庶務幹事から、次回の小委員会は春の年会の開催期間で行い、全体会議は企画セッション前の昼休み、委員会はその前に実施することにするが、年会プログラムの決定（12 月中旬）後、部会長、副部会長と相談の上決定することとした。部会長から「せっかくの学会が事務手続きで終わる感があり、委員会実施はプログラムのない時間に実施するのが望ましい。」とのご意見が出され、開催時間について考慮することとした。

**10. その他**

高松庶務幹事から資料 No. 9 により、企画小委員会名簿の更新（更田委員→天谷委員交代）について説明し、了承された。

以 上